

地の記憶を苗床に

空知・島ヶ原・舞鶴に学ぶ「ミュージアムの」なこと

ミュージアムは土地の記憶に向き合う装置です。土地の記憶を調べ、伝えるモノを集め、収蔵し、土地の記憶を語りあい、学びあう場をつくる。しかし、そのような活動はミュージアムに限ったことでもないようです。本フォーラムでは、NPO法人による土地の記憶の再生、土地の記憶を探りながら地域の文化を創っている芸術活動、記念館における土地の記憶の次の世代への継承という3つの事例を講師からお聞きし、ミュージアム的な機能の多様な展開に学びながら、土地の記憶に向き合うことが何を生み出すのかを考えます。
あなたの地の記憶の苗床に。芽生えるものは何でしょうか。

講師

吉岡 宏高氏 (NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長)

岩名 泰岳氏 (画家・《蜜ノ木》主宰)

山下 美晴氏 (舞鶴引揚記念館長)

モデレーター: 川延 安直

(福島県立博物館副館長 /
ライフミュージアム
ネットワーク実行委員会事務局)

写真上から

- ・空知《旧産炭地》
- ・島ヶ原《六地藏》
- ・舞鶴《旧引揚港》

2021

1 / 24
SUNDAY

会場: 福島県立博物館

時間: 13:30 ~ 15:30

定員: 100名 (要申込・先着順)

※申込方法: 電話かe-mailでお申込みください。

参加費: 無料





吉岡 宏高

講師プロフィール

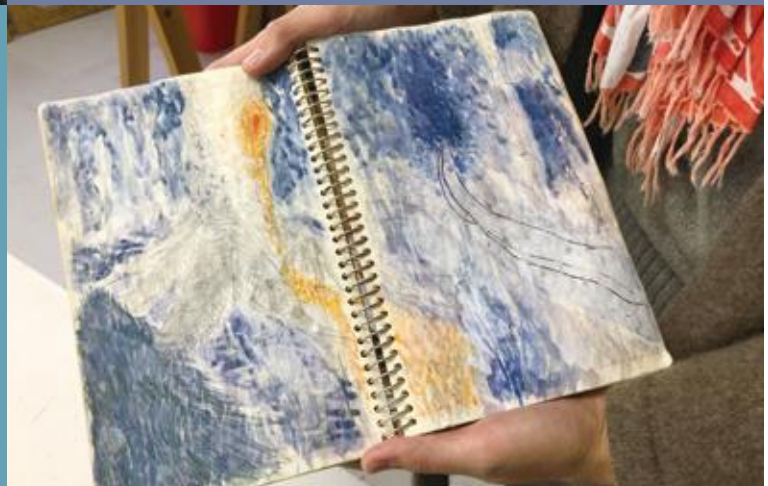
北海道三笠市出身。福島大学卒業後、製糖会社・シンクタンク勤務を経てまちづくりコーディネータとして独立。2004～2019年札幌国際大学観光学部で教壇に立つ。1999年から空知産炭地域で「負の遺産」と捉えられてきた炭鉱遺産をもとにした地域活動を実践し、2007年にNPO法人炭鉱の記憶推進事業団設立。炭鉱遺産でのアートプロジェクトなどを展開してきた。2018年夕張市石炭博物館の指定管理を受託し館長に就任。日本遺産《炭鉄港》の仕掛け人でもある。

岩名 泰岳

講師プロフィール

三重県伊賀市出身。成安造形大学卒業後、ドイツのデュッセルドルフ芸術アカデミーで絵画を学ぶ。

2011年の東日本大震災をきっかけに、故郷で地域に関わりながらの芸術活動を志す。帰郷後、同世代の人々と〈蜜ノ木〉を立ち上げる。地域の歴史を学び、その成果を紹介する展覧会を企画したり、地域の伝統行事に参加するなど、ゆるやかな連帯の中で土地に息づく活動を続けている。



山下 美晴

講師プロフィール

京都府舞鶴市出身。2012年、直営になった舞鶴引揚記念館の初代館長に就任し現在に至る。同記念館の資料をユネスコの「世界記憶遺産」とする活動をけん引。2015年の認定に導いた。開館30周年を迎えた2018年、展示や施設のリニューアルも実現。NPO法人「舞鶴・引揚語りの会」との協働により、引き揚げの記憶を次世代に継承する場を生み出している。



主催:ライフミュージアムネットワーク実行委員会

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容に変更が生じる場合があります。

【ライフミュージアムネットワークとは】

福島県立博物館は、2011年の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後、文化庁の支援を受けた「はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト」「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」の事務局をつとめ、さまざまな文化芸術による復興支援事業を実施してきました。その過程で浮かび上がってきた課題は、福島、東北、被災地に限らず、日本各地に共通するものであり、解決方法を導き出すべく、広く共有されるべきものでした。それらの課題は【いのち】【くらし】に集約されます。これらは各地の博物館・美術館・資料館・記念館を含むミュージアムの活動の核となっているものであり、ミュージアムに限らず、さまざまな団体、機関も大切にしていることです。東日本大震災後、新たに浮上してきたミュージアムの使命。それは【いのち(ライフ)】と【くらし(ライフ)】に再び誠実に向き合うことと捉え、ライフミュージアムネットワークでは、同じ志を共有するネットワークを強化・拡大することでミュージアムの社会的使命を拡張していきます。2020年度は、これまでの活動を継続するとともに、ソーシャルインクルージョン、地域資料の利活用とネットワーク構築、地域アイデンティティの再興を軸に、ライフ(いのち・くらし)に向き合うミュージアムの実践を行います。

【交通のご案内】

- 会津若松駅から約3km タクシーで約10分
- 会津若松駅から まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
- まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
- 車椅子利用者用駐車場 博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台 一般駐車場内博物館入り口側:3台

【申込・お問合せ】

ライフミュージアムネットワーク実行委員会事務局

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25 (福島県立博物館内)

Tel : 0242-28-6000 (福島県立博物館代表)

e-mail : general-museum@fcs.ed.jp (福島県立博物館代表)

HP : https://general-museum.fcs.ed.jp/page_about/archive/life-museum-network

